

令和7年度地域活力創生特別委員会管外視察の概要

- 1 視察日程 令和7年11月18日（火）～20日（木）〔2泊3日〕
- 2 視察者 地域活力創生特別委員会委員（15名）
内野幸喜（委員長）、岩本浩治（副委員長）、松田三郎、溝口幸治、西聖一、淵上陽一、増永慎一郎、緒方勇二、河津修司、岩田智子、池永幸生（(6)は除く）、本田雄三、亀田英雄、斎藤陽子、高井千歳
- 3 視察先（1）（公財）北九州産業学術推進機構 半導体産業支援センター（福岡県北九州市）
（2）福岡県北九州市役所（企業誘致課）
（3）京都府宮津市役所（美食のまちづくり推進事業）
（4）京都府与謝郡伊根町（重要伝統的建造物群保存地区）
（5）一般社団法人 豊岡観光イノベーション（兵庫県豊岡市）
（6）兵庫県豊岡市役所（地域づくり課）
- 4 視察目的 地域活力創生に係る今後の委員会審議の参考とするため、次のとおり、視察を実施しました。

5 視察の概要

(1)（公財）北九州産業学術推進機構 半導体産業支援センター（福岡県北九州市）

半導体産業支援センターでは、「北九州半導体ネットワーク」を構築し①半導体の人材育成・人材確保、②販路の開拓や企業間交流の促進、③技術・研究開発の支援の3本の柱を中心として取組を進めています。今回の視察では、今後の半導体産業の集積に向けてのセンターの果たす役割などについて情報収集を行い、意見交換を行いました。



(2) 福岡県北九州市役所（企業誘致課）

北九州市役所企業誘致課では、IT企業の誘致及び集積に向けた取組を強化しており、過去10年間で231社の企業進出を達成し、特に令和6年度においては、過去最高の48社が進出しています。『小倉デジタル城下町大作戦』など、IT企業の誘致・集積を図るユニークな取組などについて情報収集を行い、企業誘致業務に携わる市役所職員との意見交換を行いました。



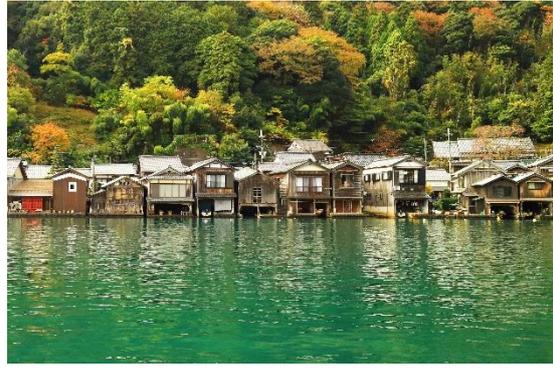
(3) 京都府宮津市役所（美食のまちづくり推進事業）

宮津市では、食の質向上と高付加価値化による飲食率・宿泊率の向上を図り、食の魅力を観光業のみならず農林水産業、製造業等の幅広い分野を支える大きな産業につなげていくため、「美食のまちづくり」に向けて取り組んでいます。今回の視察では、宮津市の取組について情報収集を行い、食を活かした観光や農林畜水産業の振興について、意見交換を行いました。



(4) 京都府与謝郡伊根町（重要伝統的建造物群保存地区）

伊根町では、舟屋群を「伊根浦伝統的建造物群保存地区」に指定し、建築物や景観の保存に努めています。また、小中学校の給食費の無償化や、高校生までの医療費負担ゼロを実現するなど、子育て支援策にも取り組んでいます。保存地区の現地視察を行うとともに、子育て支援施策について、意見交換を行いました。



(5) 一般社団法人 豊岡観光イノベーション (兵庫県豊岡市)

豊岡観光イノベーションでは、「ローカル&グローバル」をキーワードとして、観光まちづくりの観点から、地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域経済の活性化を目指す取組を進めています。また、豊岡市内にある城崎温泉は、外国人観光客が多く訪れる一大観光地にもなっています。外国人観光客の誘客戦略などについて詳細な説明を受け、意見交換を行いました。



(6) 兵庫県豊岡市役所 (地域づくり課)

豊岡市では、2020年から5年連続で移住者が100人を超えており、2024年度は140人と過去最高を記録しています。年代別では、20歳代から30歳代の移住者が多く、地域の将来を担う若い世代が移住している点に特徴があります。『飛んでるローカル豊岡』と題した移住者向けポータルサイトの運営状況や、移住から定住に至るまでのサポート体制などについて説明を受け、意見交換を行いました。

